

匂いの最先端技術で地域課題に挑む

地方創生SDGsフェス

5月28日(水)～6月1日(日)



モニターの映像に合わせて
さまざまな匂いを再現



匂いをデジタル化する先端技術を活用して地域の課題解決に取り組んでいる(株)香味醗酵と連携し、匂いに着目した没入体験を展開しました。多くの来場者が革新的な匂い解析技術に触れました。地域課題解決と先端技術の融合をアピールする機会となりました。



金物鷲と昇龍による伝統と技術の共演！！

Resolution of LOCAL JAPAN展

～地域が創る日本と地球のいのち輝く未来～

7月28日(月)～31日(木)



日本各地の伝統産業が集結する「LOCAL JAPAN展」では、三木工業協同組合青年部が中心となって三木金物を象徴する「金物鷲」を展示。共に並んだ福井県越前市の「昇龍」と対をなす迫力ある作品として、多くの来場者の注目を集めました。1,500年の歴史を持つ三木金物の精神を形にした金物鷲は、未来へ受け継がれる職人技の象徴として発信されました。

関係者にお話を聞きました

次世代継承への大きな一歩

三木金物の魅力は品質だけでなく、他には追いつくことのできない長い歴史にあると感じています。次世代を担う青年部自身が歴史や技術を学び、三木金物のファンになることで未来につなげられると考えています。今回の万博出展は、その大きな一歩となりました。



三木工業協同組合青年部
会長 岡田 達郎さん

歴代最高の金物鷲が完成

今回組み立ての責任者を担いました。準備期間が短く慣れない場所での作業で不安もありましたが、進むにつれ士気が高まり、メンバーが楽しそうに取り組む姿が印象的でした。結果、歴代最高の金物鷲が完成し、青年部にとって貴重な経験になりました。



三木工業協同組合青年部
つながり強化委員会
委員長 藤原 明仁さん



©Expo 2025

未来へつなぐ三木の取組 / 大阪・関西万博を振り返る

4月に開幕した「大阪・関西万博」。世界中から人や文化が集まるこの舞台で、市を代表する地域資源やものづくりの力、未来を担う高校生たちの国際交流など、多彩な魅力を発信してきました。本特集では、万博を通じて市民や事業者の皆さんと共に実施してきた数々の取組を振り返ります。

問(市)縁結び課・商工振興課



鍛冶屋の技術で魅せる！三木金物の展示と銘切の実演！

Japan Expo Paris in Osaka

4月26日(土)・27日(日)

日本最古の「金物のまち」としての魅力を発信するため、三木商工会議所と三木金物商工協同組合連合会が出展。包丁や手裏剣、小型鋸や彫刻刀など、多彩な金物製品を披露しました。伝統と新しいアイデアを融合した製品は、国内外の来場者から注目を集め、銘切の実演も人気を呼びました。三木のものづくりの歴史と未来を同時に体感していただく機会となりました。



県内の体験プログラムが集結！チーム三木で魅力をPR

ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2025

5月26日(月)～30日(金)

ひょうごフィールドパビリオンに登録されている各地の多彩な体験プログラムが万博会場に集結。市からは以下の事業者などが出展し、一体となって三木の魅力を来場者にPRしました。

出展団体 (順不同)

団体名	主な内容
おうちごはんcafeそらまめ	アップサイクル商品*などの紹介
(株)永尾かね駒製作所	多種多様な肥後守の展示
書家 井関春龍	和太鼓などの書道パフォーマンス
(株)常三郎	三木金物の鉋を使用した経節削り体験
田中一之刃物製作所	鍛冶屋の手作り包丁の展示
稲見酒造(株)	山田錦を使用した日本酒の試飲
みき歴史資料館	さまざまな偉人など三木の歴史を紹介

*使わなくなったものにデザインや工夫を加え、新しい価値を持たせた商品

ひょうごフィールドパビリオン 引き続き、体験プログラムを募集中

地域の現場を地域の人々が主体となって発信し、さまざまな人に体感していただく体験プログラムを令和8年3月末まで募集しています。詳しくは、県ホームページを確認してください。



▲県ホームページ

